

報告日
2004年3月23日

研究タイトル

ゆっくり静かで飛ばしやすい ラジコン飛行機の製作

システム工学部 光メカトロニクス学科1年生 村田康太郎
指導教員 三輪昌史

<目的>

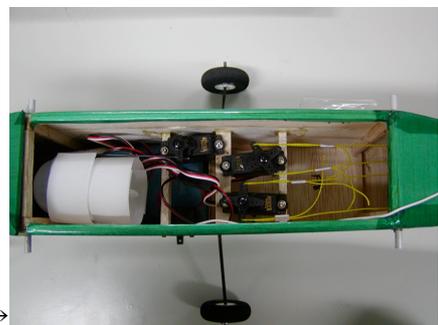
ラジコン飛行機の一般的なイメージは、高速で動き回り、音がうるさく、とても飛ばしにくいというものである。そこで、それとは逆の、ラジコン飛行機初心者でも楽に飛ばせるものを目指す。ついでに、ラジコン飛行機が飛ぶ仕組みについても学ぶ。

<方法>

実際に市販されている、初心者用のラジコン飛行機を製作する。実際にそれを飛ばして、よりゆっくり静かで飛ばしやすくできるように改良する。



←プレイリー号→





←破損



補修→



←紙粘土で補修

<結果>

工作に不慣れなこともあり、製作に苦戦を強いられつつラジコン飛行機を完成させた。しかし改良する時間がなくなってしまった。

<考察>

作ってみて

- 所々で木材を割ってしまい、紙粘土で補修する羽目になった。これがなければより機体をかろくでき、速度を落とせていた。
- 羽が少し傾くような製作をしてしまったため、飛行中の安定性が落ちた。目的を達成するには、製作段階から気を使う必要がある。

飛ばしてみても

- 風が強い場合、ゆっくり飛ばすと風にあおられて危険だった。ゆっくり飛ばす飛行機は、風が無い時に飛ばすことが望ましい。

<研究発表>

これまでに参加したコンクール

- 第6回 学生自主研究コンクール